

外字とは？

【外字とは】

一言でいうと、「フォントに収録されていない（収録しきれない）文字」の事です。

フォントには文字の識別コード（文字コード）と文字の図柄（キャラクタ）をひもづけしてセットとする領域があり、「この文字を指定した場合、この図柄を表示させる」というような働きをします。

文字コードには、区点コードや JIS コード、Shift-JIS、Unicode（ユニコード）などの種類がありますが、「ひとつの文字コードに対してひとつの図柄」となるため、「同じ文字の表示違い」のような文字は同時にセットする事が出来ないのです。

例えば「亜」という文字は、区点では「1601」、JIS では「3021」、Shift-JIS は「889F」、Unicode だと「4E9C」、という具合にコードが割り当てられています。

「高（高の異体字、はしごだか）」という文字は、Unicode では「9AD9」というコードが割り当てられていますが、区点や JIS には割り当てがありません。

【外字を表示するには？】

そもそも先程の「文字コード」として JIS や Unicode に定められていない文字は、PC で入力する段階で変換候補に出てこない場合があります。

たとえ PC で入力ができても、使用するフォントの文字セット内にその文字の図柄が登録されていない場合は、表示がされなかったり、別のフォントに置き換わったりしてしまいます。

しかし、人名の漢字はバリエーションが多いだけでなく、個人のアイデンティティーなど、大切に思っていることとの結びつきがあるため、正確な文字の表現が求められます。

その場合に必要になってくるのが「**外字フォントファイル**」です。



nis font ブログより引用
https://www.nisfont.co.jp/blog/2016_06_01/

メイセイプリントで宛名印刷を行う際、「外字」を印刷するためには「外字フォントファイル」が必要になります。（外字フォントファイルの作成は承っておりません。作成の手引が次ページに御座います。）

予め「外字フォントファイル」(.tte/.euf) をご準備頂き、宛名データと一緒に送付下さい。弊社にて宛名データのチェックを行い、送付頂いた外字フォントファイルを使用した際のフォントイメージを PDF にてお送りいたします。

お客様にて「フォントが正しく反映されているか」をご確認いただき、問題なければ印刷作業に移ります。

※PDF データの印刷にも対応しております。詳しくは弊社営業へお問い合わせ下さい。

①フリーソフト「外字コピー屋さん」を使用する場合

(1) まずは「外字コピー屋さん」をダウンロードしてください。

(<https://www.vector.co.jp/soft/win95/writing/se081896.html>)

※Windows7以降での動作保証はされていませんが、Windows10でも動作するようです。

(2) ダウンロードしたファイルをダブルクリックで開くと、「ユーザーアカウント制御」のポップアップが出ますので、「はい」を押して次に進んでください。

(3) 解凍先を尋ねられますが、そのまま「OK」を押してください。

(4) デスクトップに「cpeudc」というフォルダが作成されます。

フォルダ内の「cpeudc.exe」をダブルクリックして起動してください。

また「ユーザーアカウント制御」のポップアップが出ますので、「はい」を押して下さい。

※外字フォントの入っているPCにて行って下さい。

外字フォントが入っていない場合は、「作業が中断しました」となります。

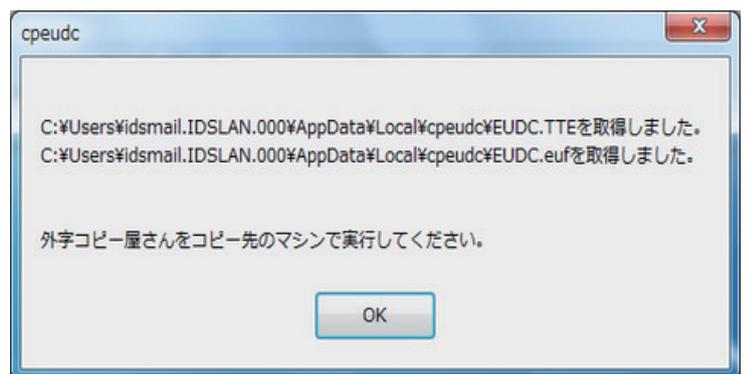
(5) 右図の画面が出ます。

「このマシンの外字ファイルを取得する」と「.EUFファイルもコピーする」にチェックがついている事を確認して、「実行」を押して下さい。



(6) 外字フォントファイルの抽出に成功すると右図の画面になります。

(4) の「cpeudc」フォルダ内に「EUDC.TTE」「EUDC.euf」「EUDC.INI」が作成されます。



(7) これで外字フォントファイルの作成は完了です。

「cpeudc」フォルダごと、または、「EUDC.TTE」「EUDC.euf」「EUDC.INI」を弊社担当者へ送付下さい。

※「EUDC.TTE」「EUDC.euf」「EUDC.INI」の3つが無いと外字のインストールが出来ません。

※念のため、外字の入っていないPCにて「EUDC.TTE」「EUDC.euf」「EUDC.INI」が動作するか確認をお願い致します。

【確認の方法】「cpeudc」フォルダ内に「EUDC.TTE」「EUDC.euf」「EUDC.INI」がある状態で、「cpeudc.exe」を起動します。「外字ファイルをこのマシンにインストールする」にチェックがついているのを確認して実行するとインストールされますので、「外字エディタ」を起動して文字が入っていればOKです。

「外字エディタ」の起動方法はOSによって異なりますが、画面左下の検索欄に「外字」と入力すると出てきます。

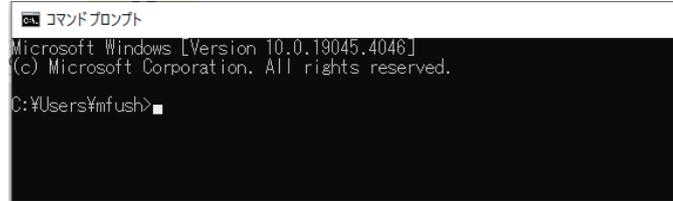
②「コマンドプロンプト」を使用する場合

OS : Windows7 以上の場合

(1) ツールバー左下の検索欄に「cmd」と入力して「管理者として実行」を押して下さい。

(2) 右図の画面が出たら、下記の1行をコピーして右図の画面にペーストしてEnterを押して下さい。

```
dir c:%windows%fonts%eudc.*
```



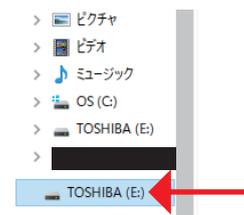
お使いのPC内に「外字ファイル」がある場合、「EUDC.TTE」「EUDC.EUF」が出てきます。
※PC内に「外字ファイル」がない場合、「ファイルが見つかりません」と表示されます。
外字ファイルの入っているPCでお試してください。

(3) 外字ファイルのコピーを行います。外字ファイルは同一ドライブ内に2つ存在できないので、USB等を使用し、そこにコピーします。

下記の1行をコピーしてコマンドプロンプト画面にペーストしてEnterを押して下さい。

```
copy c:%windows%fonts%eudc.* E:%
```

※青字の箇所はUSB等のドライブを入力してください。



(4) USB等に「EUDC.TTE」「EUDC.EUF」がコピーされているか、確認します。

※念のため、外字の入っていないPCにて「EUDC.TTE」「EUDC.EUF」が動作するか確認をお願い致します。

【確認の方法】

(3) (4) でコピーした外字ファイルの入っているUSB等を、外字ファイルの入っていないPCに接続します。「コマンドプロンプト」を「管理者として実行」し、下記の1行をコピー&ペーストしてEnterを押して下さい。

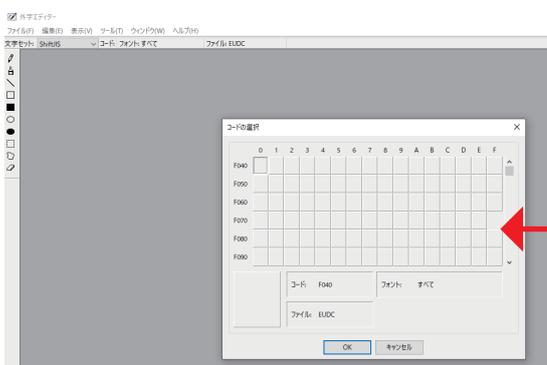
```
copy F:%eudc.* c:%windows%fonts%
```

※青字の箇所はコピー先PCでのUSB等のドライブを入力してください。

外字ファイルが適用されているはずなので、「外字エディタ」を起動して確認してください。

「外字エディタ」の起動方法はOSによって異なりますが、画面左下の検索欄に「外字」と入力すると出てきます。

(5) 「EUDC.TTE」「EUDC.EUF」を弊社担当者へ送付下さい。



矢印の箇所に文字が入っていればOKです。